

ゼータプラス[®] 200Fg

散布マニュアル（2025.02. ver.）

雑草へ、
猛突進。



ゼータプラスは、住友化学(株)の登録商標

農薬・肥料に関する
総合情報サイト【i-農力】や
各種SNSはこちら



〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号

目次

1. ドローンを用いた湛水散布時の注意事項：p.3
2. 飛行イメージの例：p.4
3. 推奨設定と散布飛行時間の目安：p.5-p.10
 - AGRAS MG-1、AGRAS T20（DJI JAPAN株式会社）もしくはMG-1K、T20K（株式会社クボタ）：p.5-p.6
 - YMR-08（ヤマハ発動機株式会社）：p.7-8
 - AC101 connect, AC102（株式会社NTT e-Drone Technology）：p.9-10

本マニュアルを使用される方へのお願い

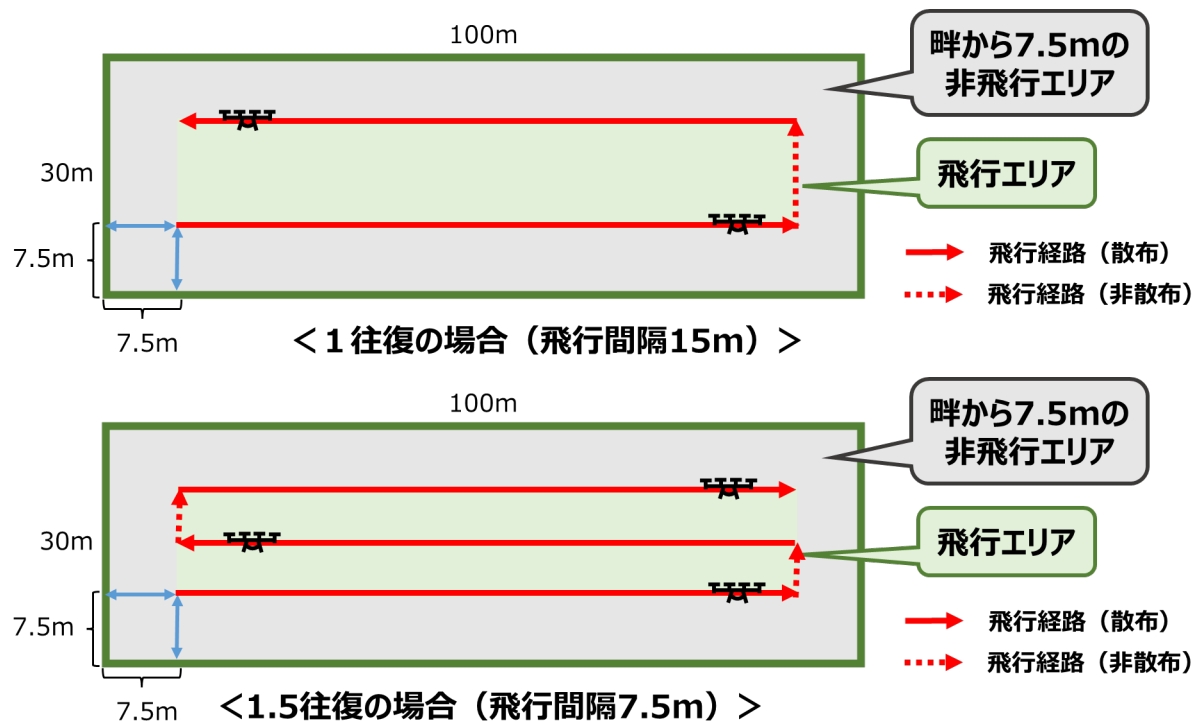
- 開度は吐出量試験結果に基づいて設定しておりますが、機械のコンディションや環境要因により吐出量が変わる可能性がありますので、あくまで**目安**としてください。そのため、実際にドローン散布をする前に必ず**吐出量を確認のうえ開度を調整してください**。
- インペラの回転数を上げると、薬剤のドリフトにより周辺作物に薬害を与える恐れがありますので、**インペラ回転数は推奨設定から上げない**でください。
- 推奨設定表は弊社の責任で**目安**として記載しており、各ドローンメーカーによって保証されたものではありません。
- 最新の登録内容は住友化学(株) 農業支援サイト「i-農力」のウェブサイト（<https://www.i-nouryoku.com/index.html>）をご確認ください。

ドローンを用いた湛水散布の注意事項

- ドローンを用いた薬剤散布をする際は、以下のガイドライン等に記載の留意事項を事前に確認してください。
 - 「無人航空機（ドローン、ラジコン機等）の安全な飛行のためのガイドライン」（国土交通省）
 - 「無人航空機（ドローン・ラジコン機等）の飛行ルール」（国土交通省）
 - 「無人マルチローターによる農薬の空中散布に係る安全ガイドライン」（農林水産省）
- 圃場周辺の地理的状況（住宅地、水道水源など）、耕作状況（収穫時期の近い農作物や有機農業の圃場の近くなど）等の作業環境を十分に勘案し、実施区域および実施除外区域の設定、散布薬剤の選定等してください。
- 散布区域外への薬剤飛散（ドリフト）防止のため、圃場の端から 5m以上（推奨は7.5m以上）離れた位置から圃場内に散布してください。
- 散布の際はドリフトを低減するため、
 - 風向きを考慮して飛行経路を設定してください。
 - 地上1.5mにおいて風速3m/秒以下の時に散布してください。
 - 飛行高度は作物上2m以下としてください。
 - 散布対象作物や有機農業の圃場等に危被害を与える恐れがあるところでは散布しないでください。
- 適用内容以外には使用せず、注意事項を遵守してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

飛行イメージの例 モデル圃場 30a (30m×100m)



- ドリフトによる周辺作物への薬害リスクを低減するため、**圃場の端から5m以上（推奨は7.5m以上）離れた位置から**圃場内に散布してください。
- 本剤は自己拡散するため、圃場の端から7.5m以上離れても効力に影響ありません。

- 本マニュアルでは30m×100mのモデル圃場での飛行イメージをもとに、畦畔からの距離や飛行往復回数などを記載しております。
- そのため、**実際の圃場のサイズや形にあわせて畦畔からの距離を十分にとってください。**

推奨設定

機体：AGRAS MG-1、AGRAS T20（DJI JAPAN株式会社）
MG-1K、T20K（株式会社クボタ）

飛行速度 (km/hr)	飛行間隔 (m)	目標吐出量 (g/30秒)	開度 (%)	インペラ回転数 (ppm)	30mx100m圃場 往復飛行回数
10	15	294.1	33	300	1往復
15	15	441.2	43		1往復
	15	220.6	28		2往復
20	15	588.2	53		1往復
	15	294.1	33		2往復

実場面での推奨散布方法に基づき、「ゼータプラス200FG散布注意事項（202203）」から数値を見直した項目がございます。

散布飛行時間の目安

機体：AGRAS MG-1、AGRAS T20（DJI JAPAN株式会社）
MG-1K、T20K（株式会社クボタ）

面積	時速 10km/hr	時速 15km/hr		時速 20km/hr	
	目標吐出量 294.1g/30秒の場合	目標吐出量 441.2g/30秒の場合	目標吐出量 220.6g/30秒の場合	目標吐出量 588.2g/30秒の場合	目標吐出量 294.1g/30秒の場合
10a	20秒	14秒	27秒	10秒	20秒
20a	41秒	27秒	54秒	20秒	41秒
30a	61秒	41秒	81秒（1分21秒）	31秒	61秒
40a	82秒（1分22秒）	54秒	108秒（1分48秒）	41秒	82秒（1分22秒）
50a	102秒（1分42秒）	68秒	135秒（2分15秒）	51秒	102秒（1分42秒）
1ha	204秒（3分24秒）	136秒（1分16秒）	270秒（4分30秒）	102秒（1分42秒）	204秒（3分24秒）

推奨設定

機体：YMR-08（ヤマハ発動機株式会社）

飛行速度 (km/hr)	飛行間隔 (m)	目標吐出量 (g/30秒)	開度 (%)	インペラ	ローラーの種類	30mx100m圃場 往復飛行回数
10	15	294.1	33	取り外す	ひし形	1往復
15	7.5	294.1	33			1.5往復
	15	220.6	15			2往復
20	15	294.1	33			2往復

実場面での推奨散布方法に基づき、「ゼータプラス200FG散布注意事項（202203）」から数値を見直した項目がございます。

散布飛行時間の目安

機体：YMR-08（ヤマハ発動機株式会社）

面積	時速 10km/hr	時速 15km/hr		時速 20km/hr
	目標吐出量 294.1g/30秒の場合	目標吐出量 294.1g/30秒の場合	目標吐出量 220.6g/30秒の場合	目標吐出量 294.1g/30秒の場合
10a	20秒	20秒	27秒	20秒
20a	41秒	41秒	54秒	41秒
30a	61秒	61秒	81秒（1分21秒）	61秒
40a	82秒（1分22秒）	82秒（1分22秒）	108秒（1分48秒）	82秒（1分22秒）
50a	102秒（1分42秒）	102秒（1分42秒）	135秒（2分15秒）	102秒（1分42秒）
1ha	204秒（3分24秒）	204秒（3分24秒）	270秒（4分30秒）	204秒（3分24秒）

推奨設定

機体：AC101 connect, AC102（株式会社NTT e-Drone Technology（NTTイードローン））

飛行速度 (km/hr)	飛行間隔 (m)	目標吐出量 (g/30秒)	開度 (%)	インペラ回転数 ダイヤル	30mx100m圃場 往復飛行回数
15	15 (片側 7.5m)	441.2	41	遅	1往復
20		588.2	55		1往復

散布飛行時間の目安

機体：AC101 connect, AC102（株式会社NTT e-Drone Technology（NTTイードローン））

面積	時速 15km/hr 目標吐出量 441.2g/30秒の場合	時速 20km/hr 目標吐出量 588.2g/30秒の場合
10a	14秒	10秒
20a	27秒	20秒
30a	41秒	31秒
40a	54秒	41秒
50a	68秒（1分8秒）	51秒
1ha	136秒（2分16秒）	102秒（1分42秒）